

「武蔵野樹林」 媒体資料

20191031 版



創刊の辞

武蔵野から、始まる。

ITテクノロジーの進化、経済成長の終焉、人工知能の実現、地球環境の激変——
歴史的転換期に立つ現代人はどこに向かおうとしているのか。
21世紀までに蓄積した英知はどのように活かせばよいのだろうか。

旧石器時代、縄文時代から文化的生活が営まれていた武蔵野。

近代文学の発祥の地とされる武蔵野。

大都市に水と農産物を供給してきた武蔵野。

雄木林や丘陵、水辺に多様な生命体が生存する武蔵野。

1万年を遡る住居遺跡に重層している東京のような巨大都市は世界に類をみないという。

その東京を抱くように包んでいるのが武蔵野なのである。

武蔵野は、とてつもない古層と、未来への兆候が入り交じる沃野だ。

2020年東所沢に「角川武蔵野ミュージアム」を開業する私たちは
この地の歴史、地形、風土、文化を学びなおすことから始めたい。

国木田独歩が見出した「人間と風景」の姿、

300年以上持続する三富農法の「土と水」の循環、

狹山丘陵の「自然と生きもの」の共生を手がかりにして

新旧ハイブリッドな知の実学—新武蔵野学を発信してまいります。



- 媒体名称：「武蔵野樹林」
- 発行形態：ムック／年2回発行（10月、4月）
- 創刊年：2018年10月20日
- 発行：角川文化振興財団
- 発売：株式会社KADOKAWA
- 発行部数：30,000部
- 定価：本体1,800円（税別）
- 判型：A4判（297mm × 210mm）並製・無線綴
- 総ページ数：144頁
- 発行人：宍戸健司
- 編集長：伊達百合
- 発売地域：武蔵野地域、首都圏、主要都市を中心に全国

武蔵野樹林

とは？



「文化大国」でかつ「自然災害国」でもある
ニッポンの未来は？ 3万年の武蔵野台地
から自然と人のリアルな営みを探求する
現代のランドスケープマガジン。

旧石器時代、縄文時代から文化的生活が営まれていた武蔵野。

近代文学の発祥の地とされる武蔵野。

大都市に水と農産物を供給してきた武蔵野。

雑木林や丘陵、水辺に多様な生命体が生存する武蔵野。

2020年、東所沢に「角川武蔵野ミュージアム」を開業する私たちは、この地の歴史、地形、風土、文化を学びなおすことから始めたいと思います。国木田独歩が見出した「人間と風景」の姿、300年以上持続する三富農法^{*}の「土と水」の循環、狭山丘陵の「自然といきもの」の共生を手がかりにして、新旧ハイブリッドな知の実学＝新武蔵野学を発信してまいります。ご期待ください。

※「角川武蔵野ミュージアム」……角川文化振興財団が「ところざわサクラタウン」に開業する、図書館・美術館・博物館が融合した文化融合施設。



撮影 中筋 純

武蔵野が日本の将来の 道しるべになる

角川書店創業者である角川源義は荻窪に居を構え、その自然と風水を愛好していた。「武蔵野の水」というエッセイを残し、座談会「武蔵野を語る」では、柳田國男、山本健吉らと熱く論を交している。武蔵野は大江戸と一体であり、都市に必要な生命の水と食料を供給していた。そんな武蔵野のすべてを源義は生涯愛した。野の気高さを感じる「秋の七草」を今わの際に皇后陛下から賜ったことも思い出される。

2020年5月、事業継承者として私たちはこの地に巨大なオフィスとともにアートと図書館の複合施設、「角川武蔵野ミュージアム」を建設する。併せて出版社としてこのたび総合誌「武蔵野樹林」を創刊する。歴史、文化、自然を再発見しこの地にすむ1000万人の人々の生活と人生を共有しカオスの中にある日本の道しるべとしたい。本誌を武蔵野の未来を繋げる沃野としたい。

公益財団法人 角川文化振興財団

理事長

角川歴彦



CONTENTS

2 秩父 map 村松 昭

特別鼎談

6 角川武蔵野ミュージアムは革命である。松岡正剛×荒俣 宏×神野真吾

14 レポート 妖怪博士 荒俣宏先生の〈夏休み子ども妖怪教室〉

18 エッセイ 中島歩の武蔵野——東所沢 中島 歩

特集

20 秩父の重力 武蔵野は奥こそおもしろい

22 乳滴る母 榎木野衣

24 地形が育んだ歴史と文化 吉田健一

30 秩父夜祭

32 秩父探索 原 武史

36 秩父の影、武甲山の声 笹久保 伸

42 秩父のひと 清水武甲 千嶋 壽

44 学者であり、アーティスト 清水大典 阿部義孝

45 金子兜太 産土の発見 句碑でめぐる兜太と秩父 小西洋一

48 秩父発、世界を驚かせる ウイスキーイチローズモルト

コミックエッセイ

50 アトム子ちゃん武蔵野に行く 第3回 青木俊直

特集

54 武蔵野風景 記憶と今

56 和歌にあらわれた武蔵野 朧と紫 中西 進

58 描かれた武蔵野 小林真結

64 武蔵野と新田開発 中西博之

68 対談 武蔵野を探して 陣内秀信×鳥越けい子

対談

74 武蔵野デモクラシー（後編） 國分功一郎×長谷川裕

特別論考

78 持続的未來のための里山（SATOYAMA） 涌井雅之

96 武蔵野台地の地形を俯瞰してみよう！ 遠藤邦彦

特集

80 うどんとだんご——武蔵野のソウルフードの源流を求めて

82 浪花に負けない武蔵野の「粉モン文化」 宮本八恵子

86 「講」とうどん——写真で見る武蔵野のうどん文化 川上 香

88 受け継ぐ、郷土の味 武蔵野うどんを打つ！

92 所沢 老舗だんご屋探訪

94 所沢市副市長に聞く 武蔵野のうどん文化の未来

連載

102 はじまりの武蔵野学 第3回 野川 赤坂憲雄

連載

108 ハビタ・ランドスケープ 第2回 滝澤恭平

114 ニッポン終末風土論 第3回 宮台真司

120 間に合う物語 第3回 アーサー・ピナード

126 能のみかた 第3回 村上 湛

128 古層探偵 第3回 大澤信亮

134 イエスと笑い 第3回 滝澤武人

136 武蔵野検定 伊東弘樹

138 武蔵野俳壇 選者：小澤 實、片山由美子

140 武蔵野歌壇 選者：内藤 明、小島なお

143 武蔵野ギャラリー 木村秀夫

144 編集後記／次号予告

国木田独歩による武蔵野の定義



国木田独歩『武蔵野』

(二八九八／明治三十二年)

武蔵野は先づ雑司谷から起つて線を引いて見ると、それから板橋の中仙道の西側を通つて川越近傍まで達し、君の一編に示された入間郡を包んで円く甲武線の立川駅に來る。此範圍の間に所沢、田無などいふ駅がどんなに趣味が多いか：殊に夏の緑の深いころは。さて立川からは多摩川を限界として上丸辺まで下る。八王子は決して武蔵野には入れられない。そして丸子から下目黒に返る。此範圍の間に布田、登戸、二子などのどんなに趣味が多いか。以上は西半面。東の半面は亀井戸辺より小松川へかけ木下川から堀切を包んで千住近傍へ到つて止まる。この範圍は異論があれば取除いてもよい。しかし二種の趣味があつて武蔵野に相違ないことは前に申したとおりである。

この記述によると、武蔵野の範圍は、
**現在の東京 23区西部と立川以東の市部、埼玉県川越市以南の中南部、
神奈川県川崎市北部のごく一部**
ということが推測される。

地域の農業、自然、人材、施設などと連携し、
現場の方がガイドするフィールドミュージアム。



誌面：特集



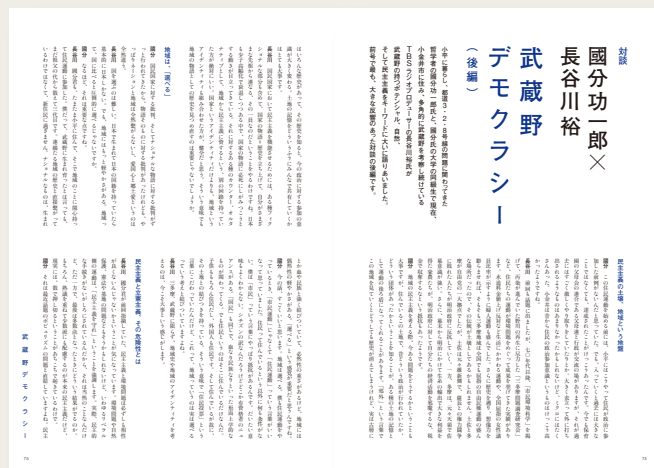
ちちぶ map



角川武蔵野ミュージアムは革命である。
特別鼎談 松岡正剛×荒俣 宏×神野真吾



特集 秩父の重力——武蔵野は奥こそおもしろい



対談 武蔵野デモクラシー（後編）
國分功一郎×長谷川裕

誌面：特集



特集 武蔵野風景——記憶と今

特集 武蔵野風景——記憶と今
和歌にあらわれた武蔵野 朧と紫 中西進特集 武蔵野風景——記憶と今
対談 陣内秀信×鳥越けい子「武蔵野を探して」

特集 うどんとだんご——武蔵野のソウルフードの源流を求めて

誌面：連載



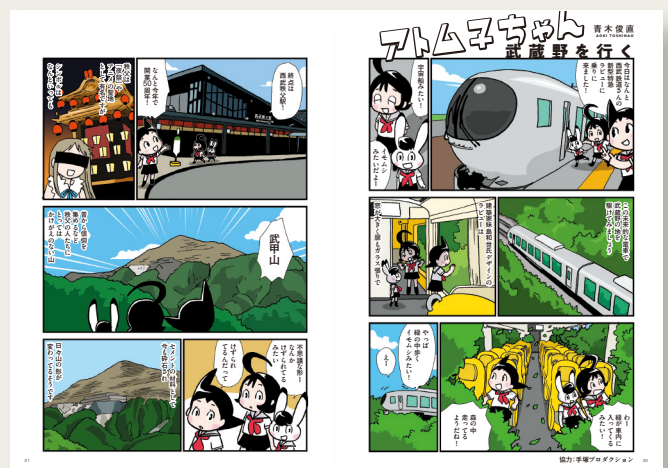
連載：アーサー・ビナード「間に合う物語」



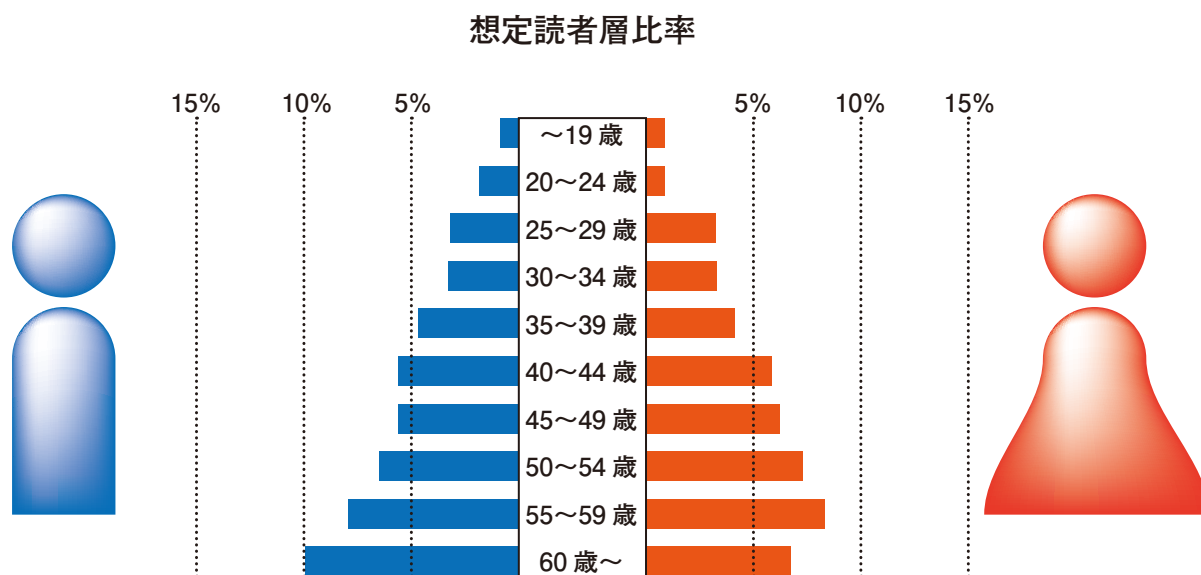
連載：大澤信亮「古層探偵」



連載：宮台真司「ニッポン終末風土論」

連載 コミックエッセイ：
青木俊直「アトム子ちゃん武蔵野に行く」

知的渴望度の高い老若男女（40～60歳代中心）にリーチ



- 武蔵野の文化・歴史・環境の理解を深めたい。
- 土や水、農に近いヘルシー・ライフスタイルの知識を得たい、深めたい。
- ローカルリーダー、エリア再生、都心からの移住の参考にしたい。という方を
中心に、

「本当の智を知りたい、得たい」

「文学芸術に関心がある」

「ネット社会に疲れている」

「豊かさの本当の意味を知りたい」

「子育て世代等、子供たちには豊かな人生を」

と考えている人々におくる新雑誌です。

掲載スペース	サイズ (天地×左右ミリ)	色数	料金 (円、税別)	データ校了日
表 4	250× 200	4C	1,500,000	発売 20日前
表 2	297× 210	4C	1,000,000	〃
表 3	297× 210	4C	1,000,000	〃
中面 4C1P	297× 210	4C	900,000	〃
中面4C タテ 1/3P	267× 58 (ケイ囲み)	4C	350,000	〃
中面4C ヨコ 1/4P	64× 192 (ケイ囲み)	4C	250,000	〃
中面1C1P	297× 210	1C	500,000	〃
中面1C タテ 1/3P	267× 58 (ケイ囲み)	1C	300,000	〃
中面1C ヨコ 1/4P	64× 192 (ケイ囲み)	1C	200,000	〃

■第4号 [2020年 4月 20日 (月) 刊行予定]

お申込み締切 2月 20日 (木)

校了 3月 30日 (月)

■広告データ入稿について

《ファイル形式》

・データ仕様：J-PDF 以下の 4点セットでご入稿をお願いします。

- ①「原寸大カラー出力見本」(トンボ入り)
- ②データ (CD-R もしくは DVD-R)
- ③データ仕様書 ④プリフライトレポート

■タイアップ広告について編集タイアップの場合は2か月前にお申し込みをお願いします。

編集部にて記事形式で広告を制作いたします。 お気軽にご相談ください。

広告掲載に関するお問い合わせ・お申込みは

株式会社角川メディアハウス
営業担当／今岡 進行担当／安部

〒102-0072東京都千代田区富士見 1-6-1 富士見ビル7F
TEL：03-3238-6465
E-Mail：imaokat@kmh.kadokawa.co.jp

武蔵野樹林

MUSASHINO JURIN